

2016年12月期 決算説明会

(東京証券取引所 JASDAQスタンダード 2703)

2017年2月27日

日本ライオン株式会社

代表取締役社長 又川 鉄男

発表のポイント

2016年12月期実績

中国等アジア新興国の景気減速と国内における個人消費の伸び悩み

- プリント需要の低迷によりイメージング製品が減収
- コンポーネントは白物家電や産業機器の旺盛な需要に支えられ増収

2017年12月期見通し

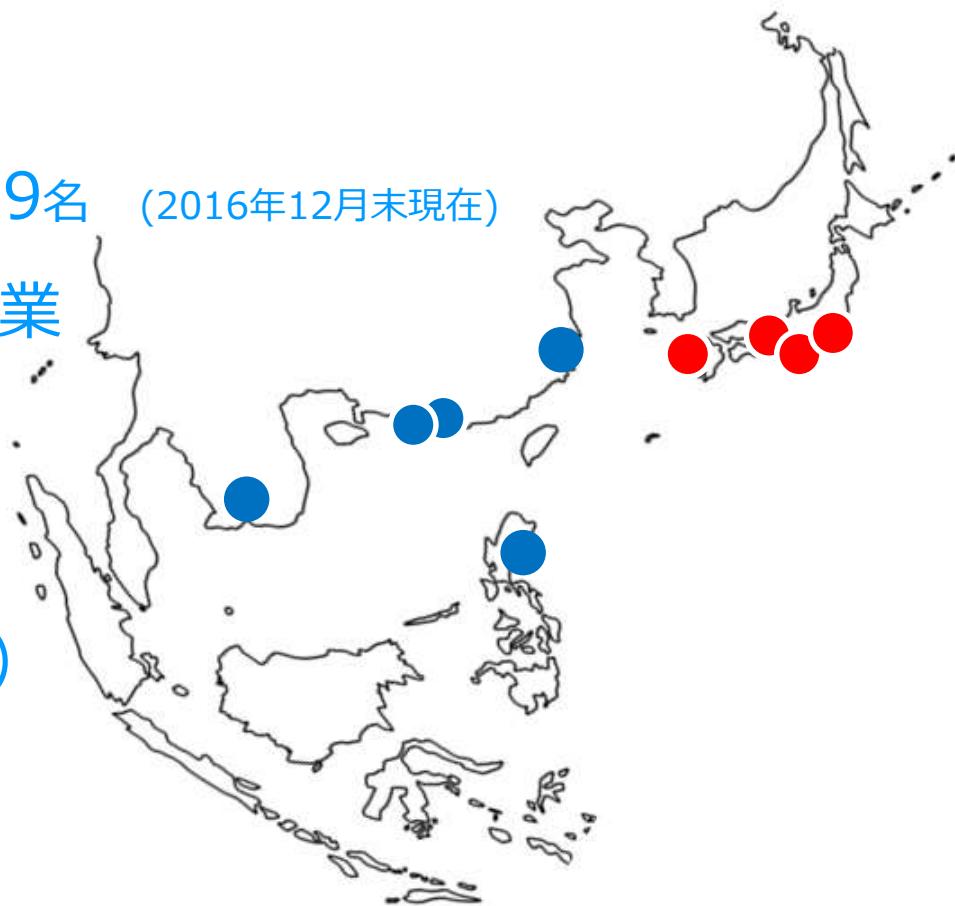
- 将来の成長に向けた『足固めの年』
- 継続成長が見込めるコンポーネントと電源で需要を確実に取り込み、IoT関連市場において、将来の成長につながる事業機会をより多く獲得するため、イメージングと無線モジュールを軸として経営資源を積極的に傾斜配分

本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2016年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2017年12月期 業績見通し
- 質疑応答

会社概要

- 設立 : 1983年 (昭和60年) 8月14日
- 本社 : 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル 8階
- 資本金 : 6億5,000万円
- 従業員数 : 単体 78名 連結 309名 (2016年12月末現在)
- 事業内容 : 一般電子部品の卸売事業
- 国内拠点 : 東京本社 大阪
名古屋 福岡
- 海外拠点 : 香港 中国(上海・深圳)
タイ フィリピン



ライオングループと日本ライオン

ライオンテクノロジー
Lite-On Technology
(2301.台湾)

49.49%

ライオン セミコンダクター
Lite-On Semiconductor
(5305.台湾)

7.87%

シリテック テクノロジー
Silitech Technology
(3311.台湾)

7.87%

日本ライオン
Lite-On Japan
(2703.日本)

65.23%

事業内容とビジネスモデル

日本およびアジア地域を中心に
日系企業向けの電子部品・モジュール製品のビジネスを展開



多機能プリンター
(MFP)



家電



産業機器



スマートフォン
携帯電話



車載関連

本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2016年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2017年12月期 業績見通し
- 質疑応答

2016年12月期 連結 損益計算書

(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減額	前年比 増減比率
売上高	17,960	13,469	△4,491	△25.0%
売上総利益	1,712	1,421	△291	△17.0%
販売管理費	1,489	1,311	△178	△12.0%
営業利益	222	109	△113	△50.9%
経常利益	214	115	△99	△46.3%
当期純利益	139	75	△64	△46.0%
為替レート	120.99円	110.29円	△10.7円	△8.8%

2016年12月期 連結 貸借対照表 主要指標

	(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減額	前年比 増減比率
純資産		2,711	2,653	△58	△2.1%
有利子負債		737	406	△331	△44.9%
自己資本比率(%)		37.0%	40.2%	3.2%	
総資産		7,319	6,603	△716	△9.8%
DEレシオ		0.27	0.15	△0.12	

2016年12月期 連結キャッシュフロー

(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減
営業活動による キャッシュフロー	531	66	△465
投資活動による キャッシュフロー	△51	0.9	52
財務活動による キャッシュフロー	△519	△355	164
現金および現金同等物期末残高	2,743	2,371	△372

2016年12月期 収益性 指標

	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減
一株当たり 当期純利益 (EPS)	11.24円	6.08円	△5.16円
自己資本利益率 (ROE)	5.2%	2.8%	△2.4%
総資産利益率 (ROA)	2.7%	1.7%	△1.0%

本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2016年12月期 決算概要
- カテゴリ別 事業の概況
- 2017年12月期 業績見通し
- 質疑応答

カテゴリー分類

コンポーネント

LED(可視光・赤外) ディスクリート
アナログIC トランスフォーマー etc.



モジュール

スキャナーユニット カメラモジュール
CIS(密着イメージセンサ) SSD etc.



パワーサプライ

USBチャージャー
ACアダプター 組込み電源 etc.



マテリアル

モバイル端末向け機構部品
IoT関連部材 電子部品向け材料 etc.



検査・製造

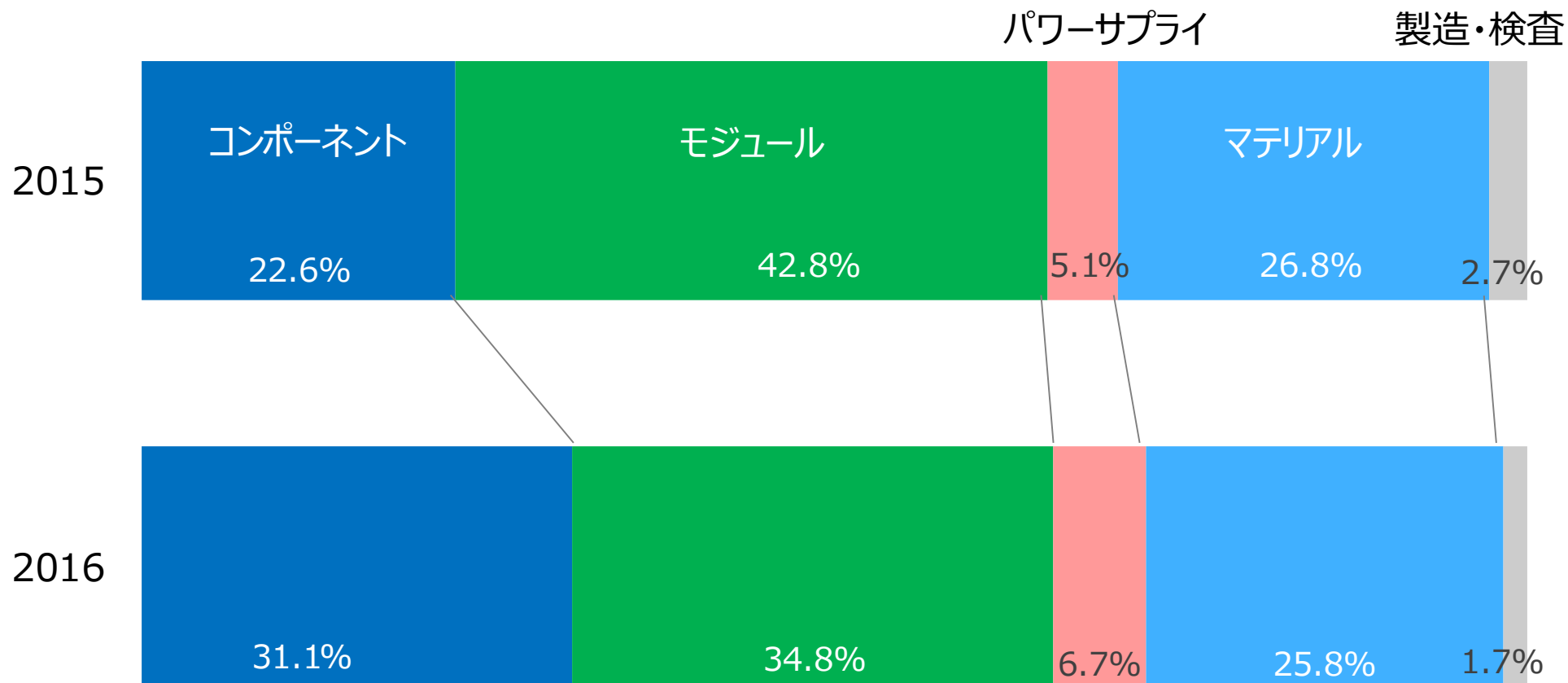
半導体材料の検査
電子部品の受託製造 etc.



カテゴリー別 連結売上高

	(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減額	前年比 増減比率
コンポーネント		4,054	4,180	126	3.1%
モジュール		7,672	4,676	△2,996	△39.1%
パワーサプライ		913	898	△15	△1.6%
マテリアル		4,811	3,466	△1,345	△28.0%
検査・製造		510	249	△261	△51.2%
合計		17,960	13,469	△4,491	△25.0%

カテゴリー別 連結売上高 構成



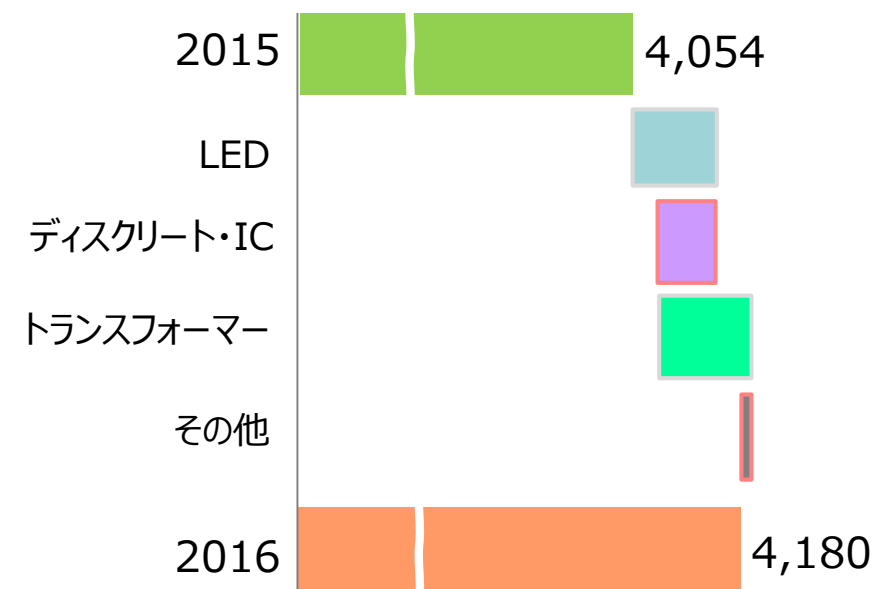
製品別内訳（コンポーネント）

<製品別概況>

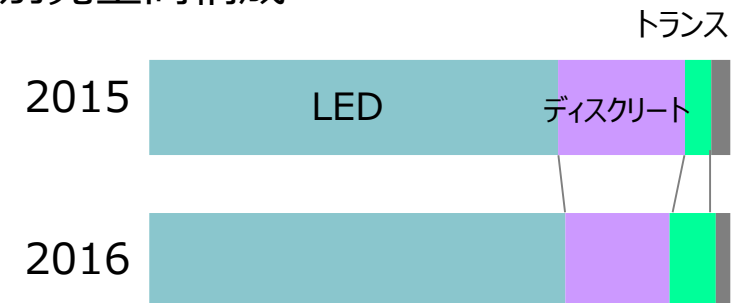
(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減比率
LED(可視光・赤外)	2,854	2,991	4.8%
ディスクリート・IC	882	753	△14.7%
トランスフォーマー	185	332	79.5%
その他	133	104	△22.0%
合計	4,054	4,180	3.1%

- 白物家電、産業機器市場の旺盛な需要に支えられ、表示用途、電源回路向けのLED販売が増収。
- 電源機器向けトランスフォーマーが前年比約80%の増収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



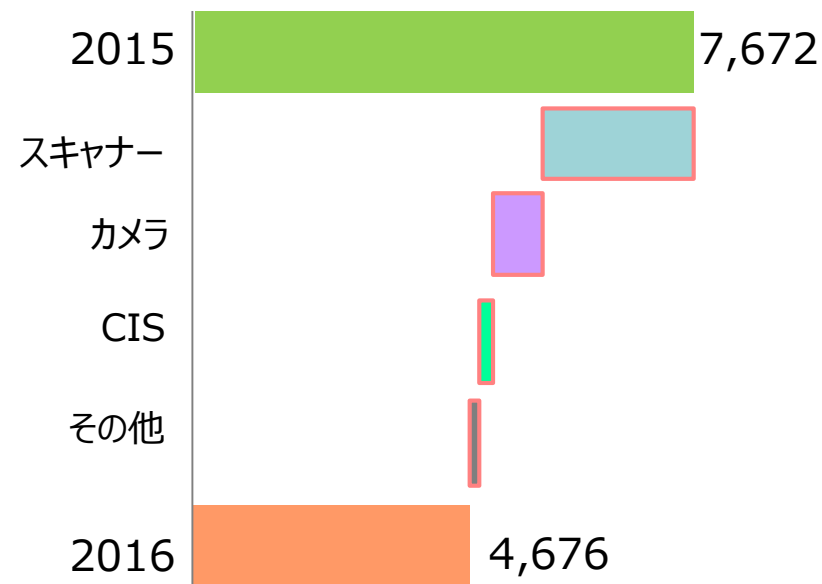
製品別内訳 (モジュール)

<製品別概況>

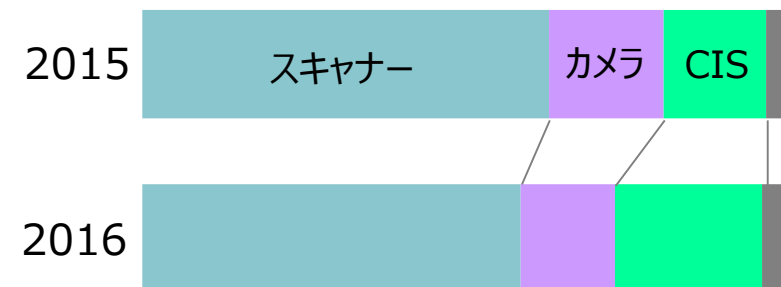
(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減比率
スキャナーユニット	4,822	2,731	△43.4%
カメラモジュール	1,357	681	△49.8%
CIS(密着イメージセンサ)	1,217	1,066	△12.4%
その他	275	198	△28.2%
合計	7,672	4,676	△39.1%

- スキャナー
プリンター需要の低迷により需要が伸び悩み減収。
- カメラ
通信キャリアのモデル絞り込みの影響で需要が落ち込み減収。
- CIS
ファックスの世界的な需要減少を受け減収となるも、
複合プリンター(MFP)大口顧客の受注活動に成果。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



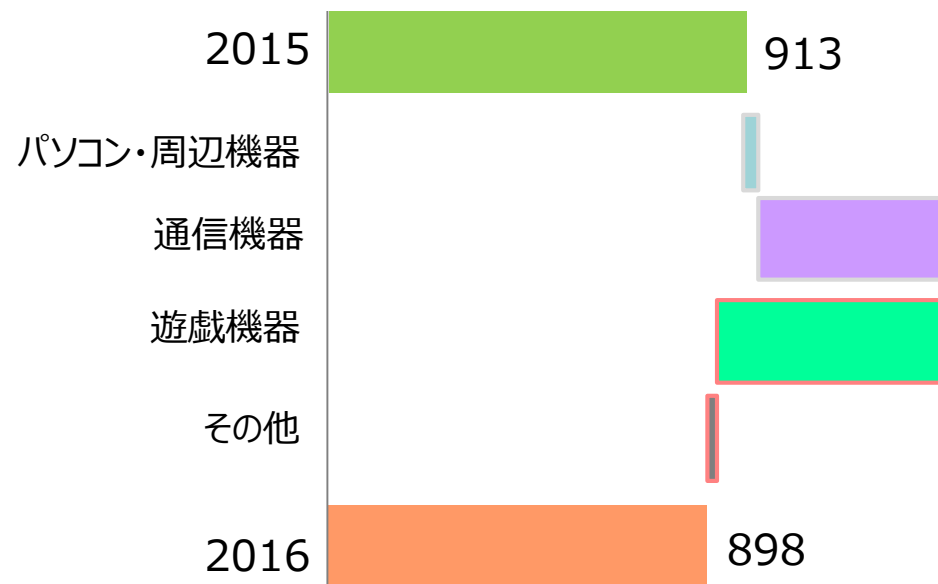
製品別内訳 (電源)

<製品別概況>

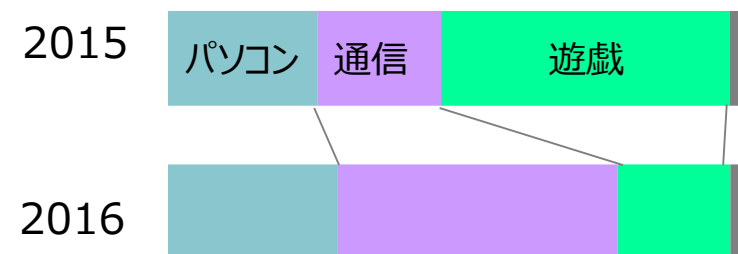
(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減比率
パソコン・周辺機器	235	262	11.2%
通信機器	195	434	122.9%
遊戯機器	454	175	△61.4%
その他	29	27	△5.3%
合計	913	898	△1.6%

- 通信機器
グローバルトップ占有率ブランドへの浸透率アップによる増収。
- 遊戯機器
新商品投入の端境期で需要が低迷し減収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



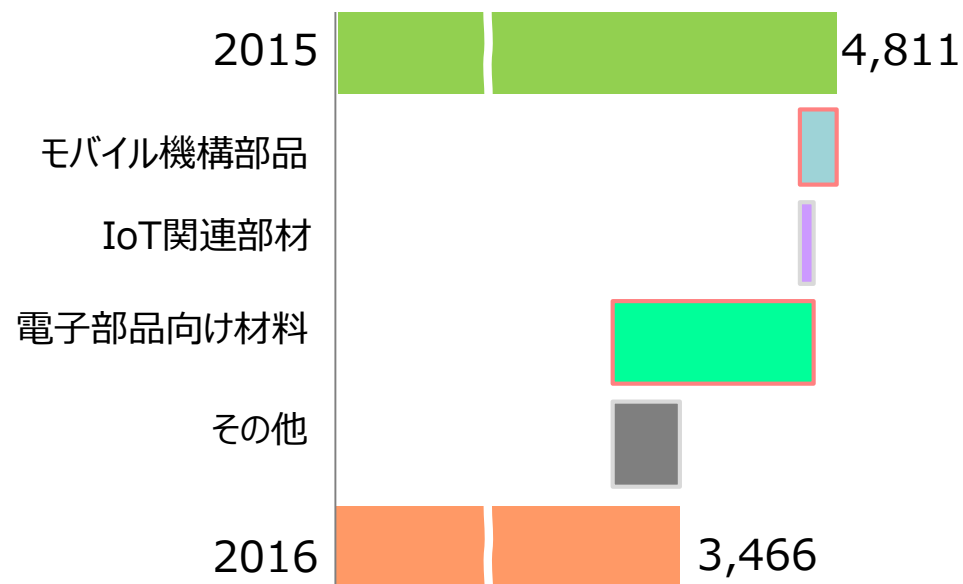
製品別内訳 (マテリアル)

<製品別概況>

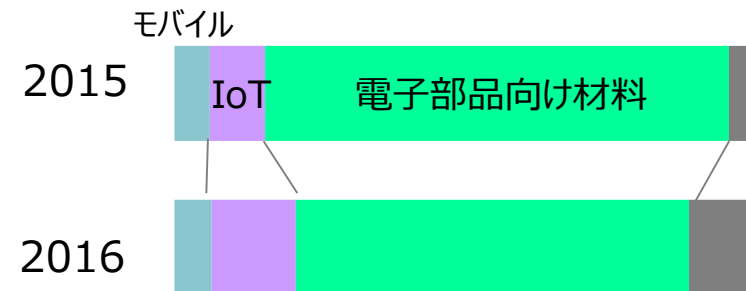
(百万円)	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減比率
モバイル端末向け機構部品	293	222	△24.1%
IoT関連部材	453	499	10.1%
電子部品向け材料	3,847	2,350	△38.9%
その他	218	395	81.3%
合計	4,811	3,466	△27.9%

- モバイル端末向け機構部品
スマホ・タブレット向けキーパッド、金属・プラスチック筐体、アンテナ等の複数プロジェクトを進めるも需要低迷により減収。
- IoT関連部材
オーディオ機器への搭載率高まり、順調にシェアを拡大し増収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



製品別内訳（検査・製造）

<製品別概況>

	2015年 通期	2016年 通期	前年比 増減比率
(百万円)			
検査	489	234	△52.1%
製造	118	49	△58.5%
合計	607	283	△53.4%

セグメント間の内部売上高を含んでいます。

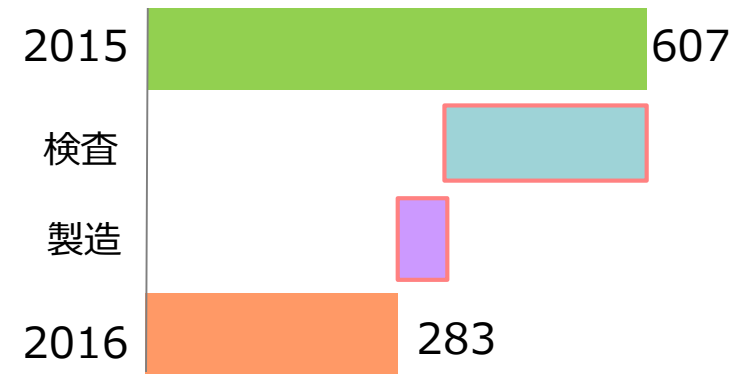
□ 検査

LCDモジュールの検査業務が終息
半導体材料の供給先（主要顧客）が日系から台湾系へシフトしました。台湾系顧客取り込むが、リカバー出来ず。

□ 製造

リードフレーム及び自社LEDの生産終息
CISの最終組み立て工程立ち上げ及び顧客認定合格するも、リカバー出来ず。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2016年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2017年12月期 業績見通し
- 質疑応答

2017年12月期 業績見通し

(百万円)	2016年 通期	2017年 見通し	前年比 増減額	前年比 増減比率
売上高	13,469	14,000	531	3.9%
当期純利益	75	70	△5	△6.7%
一株あたり 当期純利益 (EPS)	6.08円	5.62円	△0.46円	

- 将来の成長に向けた『足固めの年』
- 継続成長が見込めるコンポーネントと電源で需要を確実に取り込み、IoT関連市場において、将来の成長につながる事業機会をより多く獲得するため、イメージングと無線モジュールを軸として、経営資源を積極的に傾斜配分。

本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2016年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2017年12月期 業績見通し
- 質疑応答

ご静聴ありがとうございました。

Thank you for your attendance !

日本ライトン株式会社

URL: <http://www.lite-on.co.jp>

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル

問合せ先： 経営企画室 企画・IRチーム

〔免責事項〕

本資料は、決算の業績及び事業に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
本説明会及び資料の内容における将来の業績予想に関する情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づいて判断し作成されており、その予想の達成や計画は経済環境、販売競争の激化等の様々な外部要因及び内部要因の変化により、実際の成果や業績については本資料の見通しと大きく異なる場合がありますことをお含みおきください。